

機関リポジトリ構築を経験して(1)

小樽商科大学 南 絵里子
北海道大学 城 恭子

平成22年度学術ポータル担当者研修カリキュラム
2010年7月28日(名古屋会場)
2010年8月25日(NII会場)

北海道大学:HUSCAPの場合

北海道大学について

- 17学部・大学院
- 28研究所・研究施設
 - 教員数 2,047名
 - 院生数 6,384名
 - 学部生数 11,771名
- 附属図書館・北図書館
- 15の学部図書室



北海道大学学術成果コレクション: HUSCAP

(Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers)

北海道大学学術成果コレクション
HUSCAP
Hokkaido University collection of Scholarly and Academic Papers
Copyright(c) 2005 Hokkaido University Library, All Rights Reserved.

北海道大学 | 附属図書館 | HUSCAP

Language: 日本語 | Browse: 全文献

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers >

北海道大学所属の研究者や大学院生が著した学術論文、学会発表資料、教育資料等を閲覧できます。

トピック

- 『北大法学論集』第61巻 第1号を公開しました。(平成22年6月30日)
- 本コレクションの閲覧数が400万回を超えました。(平成22年5月21日)
- 『Japanese Journal of Veterinary Research』第58巻 第1号を公開しました。(平成22年5月17日)
- 『北海道大学演習林研究報告』第66巻 第1号を公開しました。(平成22年5月12日)
- 医学研究科の北市伸義助教らが第1回アジア太平洋内眼炎症学会で最高貢献賞若手研究者賞を受賞しました。その受賞作品を公開しました。(平成22年5月11日)
- 『北大法学論集』第60巻 第6号を公開しました。(平成22年4月21日)
- 『国際広報メディア・観光学ジャーナル』No.10を公開しました。(平成22年4月20日)
- 『子ども発達臨床研究センター-英文年報』No.30を公開しました。(平成22年4月13日)
- 学位論文をWeb公開しませんか？

過去のトピックも見る

最近登録された資料

Goto, Yuichiro ... [et al]. High magnetic field effect in organic light emitting diodes. 11(7), 2010, 1212-1216.
Fluorescent and phosphorescent organic light emitting diodes (OLEDs) were mea
....

学内の方へ

HUSCAPで著作を公開するには

ログイン

こちらからも検索できます

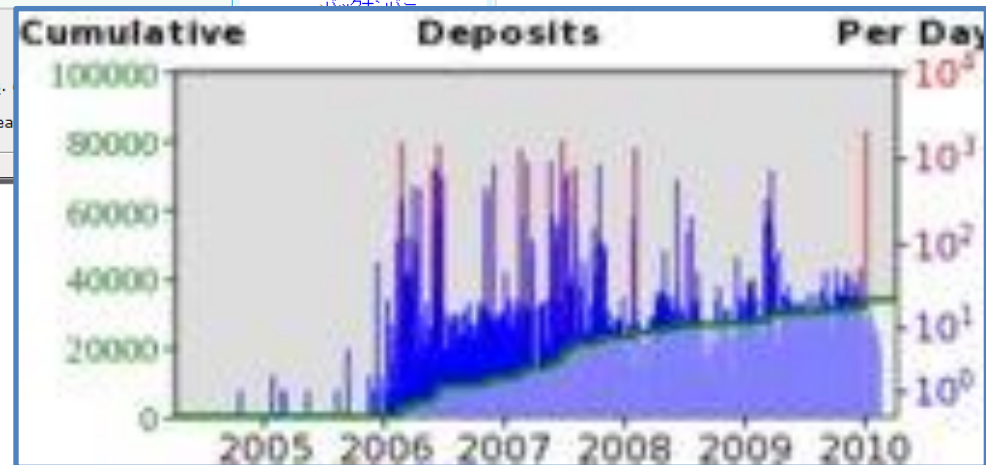
SCIRUS

完了

<学内の方へ>
HUSCAPで著作を公開するには

Papers in HUSCAP:
32729
Total downloads:
4149812
Downloads in this month:
5155

北海道大学学術成果コレクション
HUSCAPレコー
(in Japanese only)



登録文献数: 32,733件
総ダウンロード回数:
4,176,706回

黎明期

2004年

5月 NII学術機関リポジトリ構築ソフトウェア
実装実験プロジェクト参加(NII-IRP)
(~3月)

7月 図書館職員によるWG設置
国内外の先行事例調査、学内研究者自身
による研究成果のWEB公開状況の調査、
北大における機関リポジトリの必要性について
検討

10月 図書館委員会へ報告書提出

11月 学内研究者向けアンケート実施
緑化誌掲載論文調査

「学術情報の発信に関するアンケート」

学内の助手以上の教員約2,200名全員対象

回収率22%

- そのうち70%が賛同するので登録したい
- このうち91%「研究成果等をより多くの人に公開できるから」を理由に選択

学内研究者に、機関リポジトリとは何か、
著作権についてはどうだ、という広報を兼ねる、
とてもよい機会になった

アンケート用紙・調査報告書(HUSCAPからDL可能)

<http://hdl.handle.net/2115/301>

先行事例

<http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drf/index.php?references>

- 「百聞は一見に如かず」 デモを見せよう
 - ノッティンガム大学、エディンバラ大学 (2002.3)
- 好意的な反応とコンテンツをくれるのは全く別だよ
 - グラスゴー大学 (2003.10)
- インタビューから得た言葉を使ってIRを説明しよう
「それを作れば、彼らはやってくる」わけではない
 - ロチェスター大学 (2005.1)
- 目指すのはわずかずつでもよいからコンテンツが
増え続ける「活きた」IRにすること
 - 千葉大学 (2005.1)

参考: From Nought to a Thousand: the HUSCAP Project

(ARIADNE, 49, 2006.10)

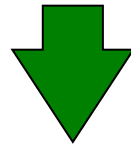
試験公開

2005年

7月 試験公開開始(学外公開)

図書館職員による代理登録制

36件の雑誌掲載論文を公開

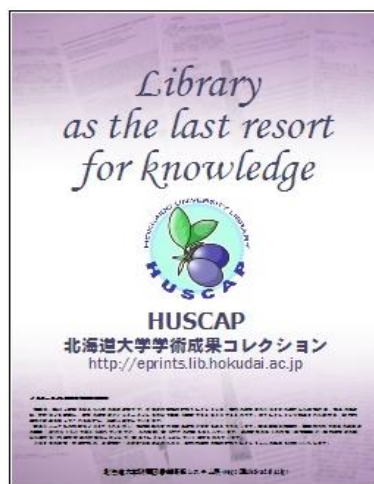
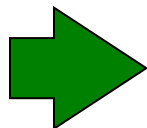
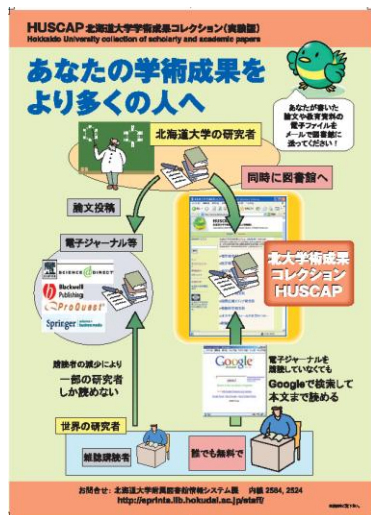


早く公開して、現物を見せて伝える

より「広報」に軸足を置いた活動へシフト

より効果的な広報を目指して(1)

- 学術成果コレクションHUSCAP
- ポスターデザイン変更(まずは名前を売る!)
- ポケットガイドの配布
- 広報誌HUSCAPレターの刊行



第16号 2010年 3月

北海道大学学術成果コレクション
HUSCAPレター
収録文献数 3万編突破記念号

私の研究
— 3万編目の登録に寄せて —

藤井 義明
大学院工学研究科・工学部教授

岩盤力学


私の専門は「岩盤力学」として、岩石や岩盤の変形や破壊に関する基礎分野です。具体的には、北海道古平町と余市町を結ぶ豊後トンネルの崩壊に代表されるような岩盤斜面崩壊のメカニズムや予測方法、地下に廃棄物を長期間安定的に貯蔵するための方法、トンネルの変状メカニズムと物理的な対策などについて研究しています。ここでは、現在の研究テーマの一つの「破壊した堆積岩の透水特性」について紹介させていただきます(次回目)。なお、岩石は成分によって火成岩・堆積岩・変成岩に分れますが、堆積岩というのは砂・泥・粘土などが厚く堆積・埋没し、地質的長期間にわたって作用した圧力のもとで岩石となったものなどをいいます。

破壊した堆積岩の透水特性

地球温暖化が人類の未来にとって致命的であり、この温暖化の原因と目される二酸化炭素排出を人為的に抑制する一つの方法として、原子力発電を促進することが有効であるという考えがあります。この考えにしたがって、原子力発電所をどんどん増やしていくと、高レベル放射性廃棄物もどんどん増え出されます。しかし、この高レベル放射性廃棄物は、数万年たたないと人体に安全なレベルまで放射能が減衰しません。

より効果的な広報を目指して(2)

- 研究者向け学内説明会
- 各種DB講習会の後にゲリラ説明会
- 研究室への訪問
- 切り番インタビュー



質疑応答の時間を
必ず確保

図書館が論文原稿をほしがっていることを伝える

教員は何をしたらいいかを単純に知らせる

質疑応答で研究者のIRに対する考えを知る

研究者への文献提供依頼アプローチ

- メールによる個別文献寄贈依頼
- 手順
 1. 文献DBで研究者の直近一週間の文献を検索
 2. Greenジャーナルを抽出
 3. メールで寄贈依頼 「これをください」
 4. 原稿ファイルを添付してメール返信（研究者）
 5. リポジトリへ搭載
 6. 登録した旨をメールでお知らせ

結果

約半数の研究者からレスポンスあり

期間	依頼内容	依頼文献数	受贈文献数	%
2005.3～5	過去2年分の文献	226	25	11
2006.1～5	直近1週間の文献	409	201	49

(2005年に行った過去2年分の論文搭載依頼の結果との比較)

これを呼び水として自発的な原稿の提供も増加
(1つ登録してもらえれば良さが分かるはず!)

→まずは「最初の一本」を!

正式公開へ

2006年

4月 正式運用開始

6月 高頻度閲覧文献リストの公開開始

ダウンロード数通知サービス開始

効果を実感してもらう

2007年

11月 北海道大学学術成果コレクション運営方針

(抜粋) 北海道大学は、本学に所属し教育研究活動を行うすべての研究者に、その多様かつ高度な成果を「北海道大学学術成果コレクション運用要項」にしたがって、本コレクションにおいて公開することを強く奨励する。

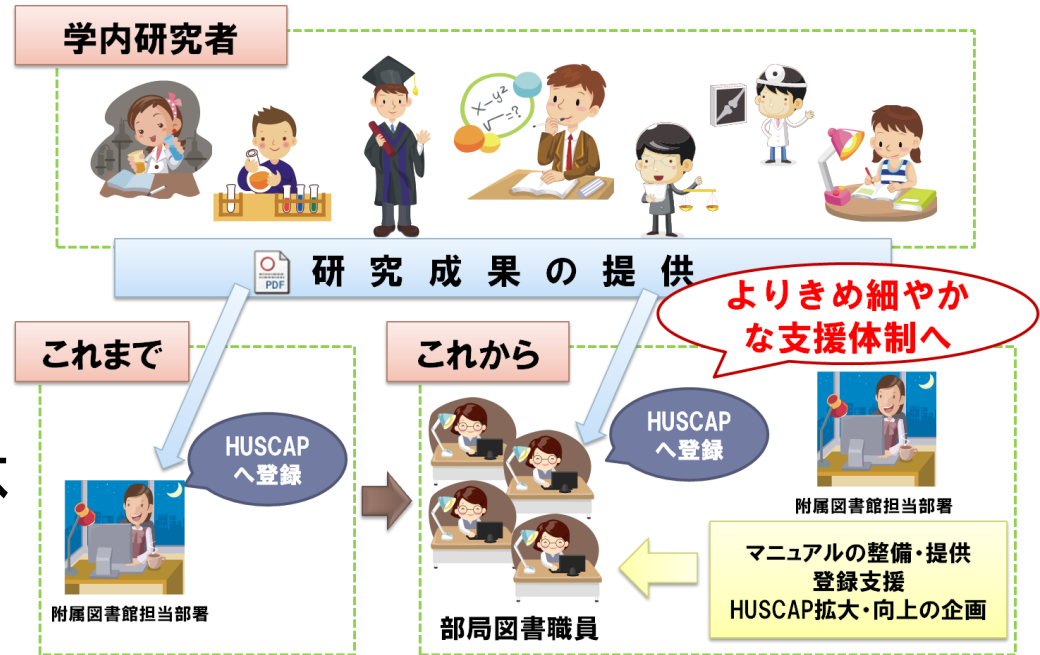
日々の反響

- HUSCAP掲載論文を読んでメールを送ってきた他大学の学部生との共同研究が実現しました。北大には〇〇関連の学部がないので、なかなか学部生を教えるような機会は無かったのですが、おかげさまで、そういった機会を得ることができました。(院生さん)
- 本日の学部教授会において、HUSCAPの意義・実績を簡単に紹介し、教員各位に是非登録して協力いただけるようお願いしました。学部長も、出席教員に協力をアピールされました。(図書委員の先生)

今年取り組み

- 担当を拡大

- 中央一括登録
→ 学部図書室でも
- サービス最前線で
- 図書館サービス全体の向上を図る



- 研究室訪問＋新たな協力者開拓

- 「いいとも作戦」！

次に訪問するとよい研究者を先生に紹介してもらって次々に訪問予約する作戦。

小樽商科大学 : Barrelの場合

小樽商科大学について



1. 小規模
 - 教員数 128名
 - 学生数 学部生：2337名、大学院生：124名
2. 1学部（商学部）
 - 学科構成は多彩
3. 図書館を利用する教員・学生と
図書館職員との距離が近い

小樽商科大学学術成果コレクション

Otaru Univ. of Commerce Academic Collection



愛称 Barrel (=大きな樽)

小樽商科大学 | 附属図書館 | Barrel

Language: 日本語

お知らせ

- Barrel登録記念インタビュー(保田隆明先生)を掲載しました
- Barrel登録記念インタビュー(小島陽介先生)を掲載しました
- Barrel登録記念インタビュー(石川業先生)を掲載しました
- Barrel登録記念インタビュー(南健悟先生)を掲載しました
- 3600件目は片桐由喜先生の韓国社会保障法制の特質と課題：インフォーマル組織の役割とその限界でした!インタビューを掲載しました
- 3500件目は八木宏樹先生のゴミのゆくえとビジネス：「ゴミは資源」というデンマークのあり方でした!インタビューを掲載しました
- 研究者ページの一覧画面を作成しました!左のメニューから「研究者」をクリックしてください。
- ダウンロード件数が50万件を突破しました!
ダウンロード50万件目は坂柳明先生の未確定事項に直面した監査人の対応：文献・制度の評価(6)でした!インタビューを掲載しました
- 3400件目は前田陽先生の創業期におけるトヨタ自動車の生産体制と原価管理意識でした!インタビューを掲載しました
- 3300件目は寺坂崇宏先生のBox-Cox変数変換を含む多変量ARMAモデルとその応用についてでした!インタビューを掲載しました

過去のお知らせ

[商学討究](#) [人文研究](#) [言語センター広報](#)

登録文献数: 3,693件
総ダウンロード回数: 718,925回
コンテンツを登録した教員数の割合: 85% (平成21年度末)

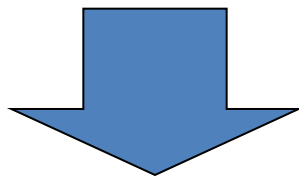
小樽商科大学Barrelのこれまで①

- 2007年04月 IR設置検討開始
 図書館内でWGグループ設置
 CSI応募
- 2007年07月 CSI受託決定
 紀要BNの著作権処理に着手
- 2007年08月 教員へのヒアリング

国内の先行事例は大いに役立てたが、文系、
小規模機関で同じようにしてよいものか...？
→ 実際に自機関の教員に聞くのが一番！

教員へのヒアリングでわかったこと

- 文系の先生も著作の公開にやぶさかではない
- 著作権が心配
- 「著者最終稿」は存在しない
- 先生の手元にある電子ファイルは初稿で、雑誌掲載の内容と大きく異なることが多い



Barrel構築・運営に反映

小樽商科大学Barrelのこれまで②

- 2007年09月 いろいろ検討・決定
 - リポジトリの名称、愛称、キャラクタ、ロゴ
 - 導入システム(DSpace)
 - コレクション構成
 - メタデータ設計

- 2007年10月～2008年01月
学科会議での説明会開始

資料種別のコレクション構成

• 資料種別

◦ 01 各種論文等

- [01.学術雑誌論文等](#) [480]
- [02.一般記事等](#) [53]
- [03.学位論文](#) [1]
- [04.会議・学会発表関係](#) [29]
- [05.図書](#) [35]
- [06.科研費報告書](#) [12]

◦ 02 小樽商科大学研究報告

▪ 01 商学討究

- [011 商学討究](#) ▶
- [012 北方経済研究](#) ▶
- [013 社会経済研究](#) ▶
- [015 商学討究](#) ▶

▪ 02 人文研究 ▶

▪ 03 記念論文集

- [小樽商科大学開学記念論文集](#) ▶
- [小樽経済専門学校創立三十五周年記念論文集](#) ▶

◦ 03 研究報告書等

- [ディスカッションペーパー = Discussion Papers](#)
 - [Economic Research Papers](#) [0]
 - [ビジネス創造センターディスカッションペーパー](#) [47]
- [北東アジア-サハリン研究会調査研究報告書](#) ▶
- [小樽商科大学史紀要](#) ▶
- [言語センター広報](#) ▶

◦ 04 本学学位論文

- [修士論文](#) [1]

説明会でお願いしたこと

- ご著作リストに○をつけて図書館にお知らせください

○○○先生		連絡先 barrel@office.otaru-uc.ac.jp						
	○ ×	論文名	雑誌名	出版社	巻号	出版年	ページ	備考
1	 巻.. 号	.. 年.. 月		
2	 巻.. 号	.. 年.. 月		
3	 巻.. 号	.. 年.. 月		
4	 巻.. 号	.. 年.. 月		
5	 巻.. 号	.. 年.. 月		
6	 巻.. 号	.. 年.. 月		
7	 巻.. 号	.. 年.. 月		
8								
9								
10								

※「○×」欄: Barrelに掲載したいものに○をつけて、図書館までお知らせください。抜刷、ファイル等を図書館にご寄贈ください。

小樽商科大学Barrelのこれまで③

- 2007年10月 ハンドルシステム登録
サーバ構築(外注)
- 2007年11月 試験公開
- 2008年01月 収録文献100件突破

30件の論文を公開
動く実物を早くから
教員に示した

➤ 記念インタビュー開始

- 2008年03月 正式公開
運用要項制定



Barrel

学術成果コレクション

大学トップページにバナー設置

記念インタビュー

動機：教員のことを知りたい、図書館についても知ってほしい

- 登録100件ごとなど、節目となる論文の著者へのインタビュー
- これまでに40回実施
- インタビューを他の図書館活動、大学の広報にも活用

いつも5つの質問

1. 登録〇件目の論文の内容を教えてください
2. この研究をはじめられたきっかけは何ですか？
3. 現在の研究について教えてください
4. Barrelに掲載された文献をどのような人に読んでもらいたいですか
5. Barrelについてご意見、感想をお願いします

記念インタビューでの嬉しかったことは

書き手としても心強い
支援者を得て、大変
励みになります。

出版社との交渉等も
図書館が全部引き受
けてくれて、本当に感謝
しています。

Barrelに掲載されたお陰で
多くの人に目を通して
もらうきっかけとなるので、
ありがたいことだと思います。

ダウンロード数を通知して
くれるシステムがいいですね。自分の
論文に多くの人に関心を持ってくれ
ていると思うと励みになりますし……。

大学の発信力としても、
Barrelは大きく貢献
していますね。

Barrelは文献の整理という意味で
ありがたい。
大量の資料の中で研究しており、自分
の文献がどこにあるか分からないことが
あるので。

インタビューを他の図書館活動、大学の広報にも活用



小樽商科大学 | 附属図書館 | Barrel

Barrel > **2800件目記念インタビュー**

Barrelは、小樽商科大学研究者の皆さまからご寄贈いただいたご著作論文など研究成果、図書館資料として大切に保存するとともに、Webで本文を無料公開して可視性を高めるお手伝いをします。

Barrelの収録文献が平成21年9月15日に2800件を超えました！

2800件目の文献は、企業法学科の河森計二先生による、河森、計二(2006) 生命保険金請求権の特別受益性、生命保険経営、74(2): 103-127でした。

河森先生にお話を伺いました。

Q:登録2800件目の論文『生命保険金請求権の特別受益性ですか？』

簡単にいうと、最高裁判所が、被相続人が残した生命保険原則別個のものとして判断したことに対して、生命保険金は原則第が故人の意思と見なされ、遺言などの債務を負っていた者なく、生命保険金だけが唯一の財産であった場合、生命保険金受取人を被相続人の遺言ははかれない結果となります。この民法の相続法の規律によらなければ問題があるといはれ、相続時、被相続人へ持戻しに寄与した相続人に対しては受取人に指定される傾向にあります。相続財産

■興味を持った方へ！...河森先生からのオススメ入門書

- (1)吉田明著『生命保険約款の基礎：よりよき理解のために』東洋経済新報社、1989
- (2)柴田忠男著『生命保険：その仕組みから厚生年金基金まで』第3版、晃洋書房、1997
- (3)竹瀬修『保険法入門』日本経済新聞出版社、2009

年)4月から施行されます。これまで商法のなかに取られていた保険に関する民法保険法に対応する入門書としては、(3)が最適のものだと思います。しかし、最初歩、(1)と(2)の本をオススメ本として紹介いたします。(1)は、東大法学部に在籍の当に関する法について、丁寧なわかりやすい言葉で説明されたものです。そこで使われればなりません、そこに流れる著者のわかりやすさを追求する態度には圧巻されていますが、平易な文章で書かれており、生命保険の全体像を知る意味で有益な(1)⇒(2)⇒(3)の流れで読まれることをおすすめします。

リンクをクリックしてご確認ください。※この推薦本は、2009年9月25日に追記しました。

●所収
【該当件数】: 1件

【番号の絞り込み検索】>>> 絞り込み

巻号 年次

1件中 1-1件を表示

No.	巻号	年次	期年	配置場所	資料ID	請求記号	状態	期限日	予約
0001		1989		書庫(1階)	0011583819	S 3.3(1)160 158381			

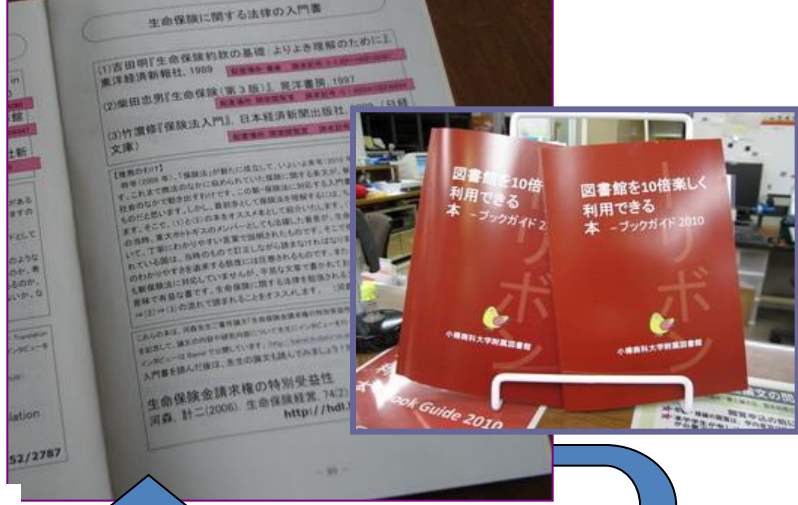
●図書: OJ001596399

書名等: 生命保険約款の基礎: よりよき理解のために / 吉田明著 / セイメイホクヤクカン / キノ: ヨリヨキライイダニ

OPACへリンク

インタビューにお勧め入門書を追記

『ブックガイド』にも掲載



大学公式ブログに掲載



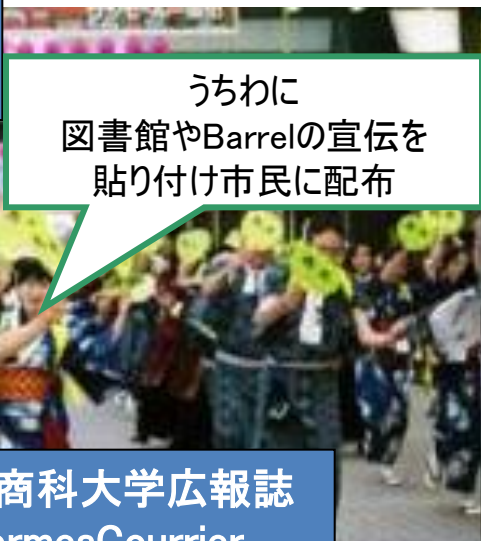
「商大くんがいく!」 Anniversary

2010-04-08 商大生のためのガイドブック!

「トリボン」ができたよ
お知らせ、施設紹介
「トリボン」って、わかるかな?
図書館が作成した商大生のためのブックガイドのことだよ。
正式名称は「図書館を10倍楽しく利用できる」

大学のショーケースとしてのBarrel

小樽最大のお祭り
おたる潮まつりに参加



うちに
図書館やBarrelの宣伝を
貼り付け市民に配布

小樽商科大学広報誌
HermesCourier



本学教員が執筆した論文などを
公開しています: Barrel (バレル)

附属図書館では、小樽商科大学の学術成果を大切に保存し、インターネットで広く利用してもらうことを目的として、平成20年3月から「Barrel」(小樽商科大学学術成果コレクション)を運営しています。Barrelには、本学教員が執筆した、

- ・専門の学術論文誌掲載論文
- ・一般誌の記事やコラム、読みもの
- ・市民講演会の資料

等、7月8日現在、約2400件を取録しています。

展示会で文庫を公開した古瀬大六元教授の論文、ゆめぼーとライブ講師の荻野富士夫教授の著作も、Barrelのサイトから、誰でも無料でパソコン上で読むことができます。また、トップページの右側のリンクから、収録文献の内容や研究内容を紹介するインタビュー記事をごらんいただけます。どうぞご利用ください!

小樽商科大学学報



附属図書館では、教員の皆様の著作文献を大切に保存し、インターネットで広く利用してもらうことを目的として、平成20年3月から小樽商科大学学術成果コレクション「Barrel」(バレル)を運営しています。おかげさまで、教員の皆様の協力により、収録文献は800件を突破しました。

1. 研究者ページ作成
文献を登録すると、Barrel内に自分専用のページ(研究者ページ)を持つことができるようになりました。簡単な自己紹介とともに、Barrel未掲載論文も含め、研究業績がリストアップされます。新たにBarrelに登録した文献は自動的にリストに加えられます。
現在、先生方の意向を伺い、順次作成中です。(図1)作成を希望される先生は、お気軽に、Barrelチームまたは参考カウンターまでご連絡ください。



Barrelトップページ
<http://barrel.ih.otaru-uc.ac.jp/>

ILL(文献複写)無料受付

- ILL担当者がIR担当者
- 小樽商大教員が著者の論文のILL複写を無料で受付
- 今までに64件(2007年11月～)
- 著者である教員には他大学から複写依頼があったことを伝え、IR登録を呼びかけ

今年の取り組み

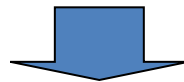
専属司書制度（2010年7月～）

- 教員1人につきBarrelチームから担当者2人がつく（メイン・サブ）
- 年1回、研究室を訪問

直近1年間の発表論文の
抜刷を回収

他にも・・・

- ・図書館への要望の聞き取り
- ・新しいサービスなどの紹介
- ・パスファインダー作成のための聞き取り



図書館活動全体に反映

北大と商大
担当者が考
える

IRのいちばんの目的

大学の研究者が執筆した文献の可視性を
高めるお手伝いをする

- 図書館所蔵資料や貴重書の電子化ではない
- メタデータのための登録なし
- 先生方に自分が文献を出すものなのだと
はっきり認識してもらう

いちばん大切なのは、研究者の信頼を得ること
登録したいと思われるようなIRを構築・運営すること

お勧めしたいこと

- 待っているだけではコンテンツは集まらない
 - 質問・要望には出来るだけ早く対応
 - 研究者とのコミュニケーション
 - 学内他部署との連携
- 利用者からのフィードバックで図書館全体の活性化
 - 図書館職員自身も楽しんでやる
- わからないことは他大学(DRFなど)に聞いてみる
- 他大学の事例を参考にしつつ、
自分の大学に合ったやり方で

まとめ

リポジトリは、図書館職員と教員との距離を近くし、相互の理解を深めることに大いに寄与している

北海道大学HUSCAP & 小樽商科大学Barrelは、少しずつでも文献が増え続けるリポジトリを目指します